

【子育て世代ワークショップ】

第 1 回ワークショップ（ともに考える各分野の未来）

① プログラム

時間進行	当日のメニュー
13:00~13:20	開会、オリエンテーション
13:20~15:55	グループワーク ・ 分野の伸ばすべきところや改善すべきところ ・ さいたま市の 10 年後に向けて重点的に取り組むべきこと、またその中で市民自身が取り組めること
15:55~16:45	発表、閉会

② ワークショップのグループ分け

分野別ワークショップでは、現行の総合振興計画の計画構成に基づき、以下の様な分野ごとにグループ分けを行い話し合いを行いました。

分野	主な内容
環境・アメニティ	環境保全、廃棄物対策、自然環境、都市景観など
健康・福祉	健康、子育て支援、高齢者福祉、障害者福祉、食品衛生など
教育・文化・スポーツ	学校教育、生涯学習、スポーツ、文化振興など
都市基盤・交通	市街地整備、交通体系、高度情報化など
産業・経済	地場産業、商業、観光、農業、新産業育成、雇用・就労など
安全・生活基盤	防災、防犯、交通安全、住環境など
交流・コミュニティ	男女共同参画、地域コミュニティ、多文化共生など



③ グループワークの結果

《環境・アメニティ》

市の強み	市の弱み
<ul style="list-style-type: none"> 太陽光、太陽熱の利用が盛ん 産業部門の温室効果ガス排出量が少ない 1人当たりのごみ排出量、最終処分比率が少ない ごみのリサイクル率が高い 都市と自然の融合 公共交通機関が充実 	<ul style="list-style-type: none"> 民生部門の温室効果ガスの排出量が多い 節電や省エネに対する意識が低い 市が行っているリサイクル事業の効果が見えない ごみの削減意識が低い
今後重点的に取り組むこと	
<ul style="list-style-type: none"> ごみ処理のさいたま市の課題と対策、効果を知ってもらう ごみ削減のPR強化 	
私たち市民が取り組むこと	
<ul style="list-style-type: none"> 環境問題への意識を高める 地域活動に参加する 	

《健康・福祉①》

市の強み	市の弱み
<ul style="list-style-type: none"> 保育所が増加傾向 医療費控除の仕組みがある 高齢者が運動する催しやスペースが確保されている 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども短時間預かり制度がない 子どもが遊べる公園が少ない 地域コミュニティが少ない又は使いづらい 高齢者へのサポートが少ない 障害者家族、介護者に対する支援者が少ない
今後重点的に取り組むこと	
<ul style="list-style-type: none"> 子育て環境（預かり体制や公園等）の整備や補助金の検討 高齢者の活躍する場の提供 	
私たち市民が取り組むこと	

- 自分の出来ることでイベントを行う。
- 新しく始める事に情報提供や協力を行う。(自らワークショップの講師を務める等)
- 高齢者の話し相手になる

《健康・福祉②》

市の強み	市の弱み
<ul style="list-style-type: none"> • 保育園が多い • 学童保育の受け入れ数が増加 • 医療費が中3まで無料 	<ul style="list-style-type: none"> • 待機児童数が多い • 保育士不足、学童保育不足 • 地域のつながりが薄い • 一人暮らし高齢者が多い • 若者の健康意識の低さ
今後重点的に取り組むこと	
<ul style="list-style-type: none"> • 保育士待遇改善 • 企業内保育との連携 • 多様な人間を受け入れる • 高齢者の社会貢献意欲の確保 • 健康に対する自己肯定感を強める機会の設定 	
私たち市民が取り組むこと	
<ul style="list-style-type: none"> • 保育への積極的な参加 • 公的な情報を活用して暮らしやすくする • 障害者スポーツを体験する • 地域との交流を深める • 相談相手になる 	

《教育・文化・スポーツ①》

市の強み	市の弱み
<ul style="list-style-type: none"> • 学力が高い • ICT環境が充実 • 図書館・公民館が多い • 市民のスポーツ実施率が高い 	<ul style="list-style-type: none"> • 1クラスの生徒数の多さ • 教員がITを使いこなせていない • 特別支援学校設置率が低い • 生涯学習に取り組む市民が少ない • 公民館の利用層が偏っている

<ul style="list-style-type: none"> 文化的なまち、芸術のまち、をイメージする割合が高い 	<ul style="list-style-type: none"> 40歳代のスポーツ実施率が低い 文化や芸術が市民に浸透していない
今後重点的に取り組むこと	
<ul style="list-style-type: none"> 教員の研修 1学級当たり生徒数の制限 特別支援教育の環境整備 生涯学習を通じた世代間交流 目的に応じた生涯学習施設の住み分け 気軽に行けるスポーツ施設の設置 親子を巻き込んだ交流イベントの開催 	
私たち市民が取り組むこと	
<ul style="list-style-type: none"> 大学生ボランティアと連携する 学習支援を行う 自ら情報をキャッチしに行く スポーツイベントに参加する 	

《教育・文化・スポーツ②》

市の強み	市の弱み
<ul style="list-style-type: none"> スポーツが盛ん 芸術活動への参加意欲が向上している 公共施設が充実 子どもから高齢者まで学習意欲が高い 教育水準が高い デジタル化など教育環境が充実 	<ul style="list-style-type: none"> 気軽にスポーツできる環境がない 外国人、マスコミへのアピール不足 芸術家と市民のふれあい 生涯学習への意識が低い 図書館利用率が低い 知識偏重で閉ざされた教育になっている
今後重点的に取り組むこと	
<ul style="list-style-type: none"> プロスポーツチームとの連携 気軽にスポーツできる環境づくり 情報発信の充実 講座情報等の市民への周知 	

<ul style="list-style-type: none"> • キャリア教育の充実 • 地域と触れ合う機会を増やす
<p>私たち市民が取り組むこと</p>
<ul style="list-style-type: none"> • SNS で情報を発信 • 参加して得た知識、スキルを示していく • 地域イベントへ積極的に参加する

《都市基盤・交通①》

市の強み	市の弱み
<ul style="list-style-type: none"> • 駅前が整備されている • バリアフリー化が進んでいる • 市内に都心が2つあってにぎやか • 街中に緑と開放的な空間がある • 自転車ネットワーク路線が延長している 	<ul style="list-style-type: none"> • 生活道路の整備の遅れ • 危ない交差点や道路が多い • 高齢者、障害者、外国人への対応 • 自転車移動が快適と感じる市民が少ない • 自転車マナーが悪い • 車がないと市内移動が不便
<p>今後重点的に取り組むこと</p>	
<ul style="list-style-type: none"> • 危ない道路、交差点、細く交通量の多い道路等の把握・改善 • 緑豊かな開発 • コミュニティバスの運用改善 • コミュニティサイクルの範囲拡大 • 交通マナーの周知・監視 	
<p>私たち市民が取り組むこと</p>	
<ul style="list-style-type: none"> • シェアサイクルを使ってFBで発信 • 近場であれば徒歩や自転車を利用する • 自転車マナーを守る 	

《都市基盤・交通②》

市の強み	市の弱み
<ul style="list-style-type: none"> • 交通の利便性が良い • 自転車レーンが整備されている • 駅が使いやすい 	<ul style="list-style-type: none"> • 道路が狭い • 自転車マナーが悪い • バス本数・路線が少ない

<ul style="list-style-type: none"> 公園が多い 住みたいまち上位にランク スポーツ施設やスポーツチームの存在 	<ul style="list-style-type: none"> 東西のつながりが弱い 情報発信が出来ていない 市の一体感がない
今後重点的に取り組むこと	
<ul style="list-style-type: none"> 自転車ルール教育 バスの利便性向上 道路の拡幅 市としてのブランディング強化 	
私たち市民が取り組むこと	
<ul style="list-style-type: none"> 交通ルールマナー講習会の実施 まちづくりに積極的に参加する 自分たちの街に関心を持つ 	

《産業・経済》

市の強み	市の弱み
<ul style="list-style-type: none"> 経営が安定している企業が増加している 広大な土地とポテンシャル 農地が近く野菜を近所で買える 商業施設が多い 産業が発展している 	<ul style="list-style-type: none"> 市の魅力をアピール出来ていない 事業所、従業員が減少している 農家数が減少 市内での消費が減少 地域産業と言われて分かりやすいものがない 商店街よりも大型ショッピングモールで買物が多い
今後重点的に取り組むこと	
<ul style="list-style-type: none"> 広告媒体を活用する 市内産のものに出会う機会を積極的に作る 特産物を作る さいたま市のブランディング 地元商店街を活性化させる仕組みづくり 	
私たち市民が取り組むこと	
<ul style="list-style-type: none"> SNSを通じた発信を行う 	

- さいたま市の具体的な良いところを伝えていく
- 市の取組みに興味を持つ

《安全・生活基盤》

市の強み	市の弱み
<ul style="list-style-type: none"> • 避難所の耐震化率が高い • 避難訓練の参加者数が増加 • 住宅の耐震化率が上昇している • 自転車専用道路の増加 • 交通事故の減少 	<ul style="list-style-type: none"> • 自治会に加入していない市民の防災訓練機会が少ない • 築30年以上の住宅の耐震化率が低い • 家庭単位での防災意識の低下 • 自転車運転ルールが守られていない • 道路が狭い
今後重点的に取り組むこと	
<ul style="list-style-type: none"> • 避難所を中心とした地区単位での防災訓練 • 高齢者や体の不自由な方を中心に考えた避難訓練 • 市民への情報伝達の導線強化 • 交通マナールールの見直し • 自転車が多いエリアの注意喚起 • 道路整備の検討 	
私たち市民が取り組むこと	
<ul style="list-style-type: none"> • 防災関係のイベントへの参加 • 近所の方と確認しあう • 家族と震災時の帰宅方法の確認 • 自治会のネットワーク作り • 家の備蓄確認 	

《交流・コミュニティ》

市の強み	市の弱み
<ul style="list-style-type: none"> • 市民の人権意識が高い • 住宅の耐震化率が上昇している 	<ul style="list-style-type: none"> • さいたま市だから、という特徴が見えない • 平和宣言都市の認知率が低い

<ul style="list-style-type: none"> • 子どもが障害者、健常者分け隔てなく遊べる場所がある • 活発に交流する人が増えている • 訪れる外国人が多い • 異文化理解が微増している 	<ul style="list-style-type: none"> • 市の計画自体を知らない • 地域活動に参加する市民の割合が低下 • 地域活動の内容が見えない
<p>今後重点的に取り組むこと</p>	
<ul style="list-style-type: none"> • 高齢者や障害者、外国人も参加できるイベントの開催 • さいたま希望のまちプランを知ってもらう • 地域活動を分かりやすく伝える • Wifi 等のインフラ整備 • 区民まつり等での外国の紹介 	
<p>私たち市民が取り組むこと</p>	
<ul style="list-style-type: none"> • SNS で発信する • イベントに参加する • 近所づきあいから始める • さいたま市や区に対する理解を行う 	